

木竹の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【3年生 ジャガイモほり 12月17日 火曜日】

1時間目に国重さんの畑に行きました。ジャガイモほりにやる気満々の児童たちでした。

まず、掘り方の説明を聞きました。茎かり機で畝の茎をかっていきました。その後、ほりとり機でジャガイモを掘っていきました。みるみるうちに大小のジャガイモがにっこりと顔を出してくれました。「ワー、たくさん出てきた。」「あった！大きい！」「早く取りたいーい。」などの歓声が聞こえてきました。そのジャガイモをコンテナの中に集めていきました。久保先生の注意「ジャガイモの皮がとても薄いので優しく扱いましょう。コンテナの下まで持っていってから手を放すようにしましょう。」を守って集めました。

畑のジャガイモを拾った後、茎や種ジャガ、食べられないような小さなジャガイモなどをコンテナに集めました。畑を空っぽにするためです。なぜするのか質問すると、「ジャガイモを残しておく」と病気になります。その病気が、次の種芋を植えるとうつるのです。だから、何もない状態にすることが大切です。」と話してくださいました。

